

事業における「協同」の多様性に学ぶ

巻頭言

社会をより良くする企業活動……白鳥 和生 1

争論 協同組合が地域「経済」に果たす役割の再検討……2

01 地域に貢献する生協になるために……宮本 弘 3

02 地域とともに生きる協同組織金融機関の役割……菅原 務 11

特集 事業における「協同」の多様性に学ぶ……19

01 地域の「人」のために移動販売ができること

～有限会社 安達商事（あいきょう）の取り組み……岩橋 涼 20

02 地域におけるYショップの役割～過疎地域でのJAとの取り組み……竹野 豊 26

03 地域内循環型サプライチェーンと地域貢献～セコマグループの取り組みを事例に……今野 聖士 32

04 職域生協における地域経済への貢献～三菱マテリアル直島生活協同組合……加賀美 太記 40

くらしと協同をたずねて

「駐車場」ならぬ「停人場」づくりで地域住民の創造性を回復?!

～全国まちの駅連絡協議会を訪ねて……熊倉 ゆりえ 46

書評

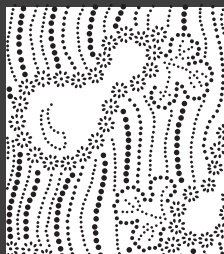
01 『「結農」論～小さな農家が集まって70億の企業ができた』木内博一 著……片上 敏喜 52

02 『地域再生の失敗学』飯田泰之・木下斉・川崎一泰・入山章栄・林直樹・熊谷俊人 著……谷本 貴之 54

投稿規程…… 56

バックナンバー／編集後記…… 57

小
紋
挿
趣



表紙紋様「よろけ立縞地菊瓢箪文様」

瓢箪は、宝物を生み出す不思議な容器とも言われ、水筒やお酒の貯蔵に利用されてきました。三つで三瓢子、六つで六瓢息災など縁起の良い物として、羽柴秀吉の千成瓢箪や多くの武将の旗印・馬印の意匠に広く用いられました。

どことなく愛嬌のある瓢箪柄は、菊の文様で縁取られています。

菊は重陽の節句に長寿を祝う菊酒として飲まれてきました。

酔った千鳥足を「よろけ立縞」に見立てれば、お酒を愛した日本人の心音がやさしく伝わってきます。

田内隆司／京小紋画像提供（田内設計事務所）